

# Creative Blue

コロナ対策号

3学年主任 芦澤 良美

## 今、私たちにできること ~差別・偏見をなくすために~

新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。以前よりも感染力の強い変異株も出現しました。感染症の恐ろしいところは、病気のみならず、人の心を不安にさせ、差別や偏見を生んでしまう可能性があるということです。押原中学校では、この新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見を防ごうという取組をしています。先週は、差別・偏見をなくすために何ができるかを一人一人が考え、意見を出し合う機会をもちました。生徒たちはワークシートに真剣な思いを書いています。ご家庭でも話し合っただけだとありがたいと思います。

### ○新型コロナウイルス感染症に対して、どのようなことが不安ですか。

- ・感染してしまうのではないか。
- ・感染したらいじめられるのではないか。
- ・無症状で他の人に知らない間に広めているかもしれない。
- ・治療がないということ。
- ・後遺症があるかもしれないということ。
- ・祖父母や家族が心配。
- ・誰かに迷惑をかけてしまう。

### ○病気になるために

- ・手洗いをしっかりする。 ・マスクをする。
- ・食事のときに大きな声で話をしない。
- ・密を避ける。 ・消毒をする。 ・規則正しい生活をする。

### ○不安にならないために

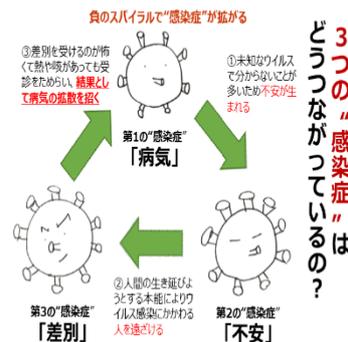
- ・情報をうのみにせず、本当に正しいことはなにかを自分で考える必要がある。
- ・コロナを不安に感じているのは自分だけではないと思う。
- ・一人で抱え込まない。
- ・コロナは誰でもかかる可能性があるものであるという意識をもつ。
- ・間違った情報に惑わされない。
- ・不安を感じている人によりそう。

### ○差別をなくすために

- ・感染を言い出しにくい雰囲気をつくらない。 ・SNSでの言動など気をつける。
- ・自分もいつ感染してもおかしくないという意識をもち、差別的な発言をした人がいたら、「そうじゃないよ。」と伝え、自分とそのまわりから差別と偏見を減らしていく。
- ・マイナスにとらえるのではなく、プラスに考える環境を整えること。
- ・自分がかかってしまったときのことを考えてみる。
- ・差別や偏見に共感しない。 ・「もし自分だったら。」と考える。
- ・簡単に噂話を信じない。

#### 3つの“感染症”を予防する！

“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別がさらなる病気の拡散につながることで



(出典：「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」日本赤十字社 より引用)

- ・対策をしっかりしていても、感染してしまうことがあることを理解する。
- ・自分の発言や行動に責任をもつ。
- ・感染した人の気持ちを考え、思いやりをもつ。

押原中学校の正面玄関と、各フロアには「いじめ・偏見防止プロジェクト」のポスターが貼られています。その中の一つには次のように書かれています。

「不安・差別・いじめといった感情は、  
私たちが力を奪ってしまう。  
新型コロナウイルスとの戦いは長い戦いになるかもしれない。  
だから、戦う力が必要なんだ。  
みんなの優しい気持ちはウイルスと戦うときのパワーにかわる。  
戦うべき相手は、人じゃなくてウイルス。  
優しさを集めてウイルスと戦おう。」

感染しても無症状の人がいたり、消毒などの対策をしていても感染してしまう人もいたりする、新型コロナウイルス感染症。この難しいウイルスに対抗できるのは、私たち一人一人の優しさなのです。学年として、思いやり、励まし合うことを大切にしていきたいと思います。



## 有価物回収・学校開放日、ご協力ありがとうございました！

5月29日(土)の有価物回収、5月31日(月)～6月4日(金)の学校開放日へのご参加、ありがとうございました。有価物回収は2年ぶりでしたが、それぞれの地区で、生徒たちが運びやすいように工夫してくださったり、「ご苦労さま」などと声をかけていただいたりと、地域の方々のあたたかさを感じました。8月には地区の防災訓練にも参加する予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。

また、昨年度実施できなかった学校開放日も、多くの皆様にご参観いただきました。特に中巨摩総合体育大会にむけての壮行会には、雨天にも関わらず、116名もの皆様にご参観いただきました。

今回は、体育館での壮行会を視聴覚室や木工室などでご覧いただく形となりましたが、保護者の皆様の応援に心から感謝申し上げます。壮行会の様子は、次号の学年通信でお伝えしたいと思います。



## 人の声の魅力、すばらしさ～芸術鑑賞教室～

6月3日(木)、芸術鑑賞教室が行われました。今回は、藤井宏樹氏と Ensemble PVD の皆さんの合唱でした。曲目は「押原中の校歌」「COSMOS」「アイーダ」「食卓一期一会」。心に響く歌声で、私たちに包んでくださいました。3年生としては、音楽の授業で「アイーダ」を学習していたので、「アムネリスが登場するシーンの女性の声がとても華やかで上品で、その後の男性の音がとても魅力的でかっこよかった。」など、物語と重ね合わせて楽しむことができました。今回改めて感じたのは、人の声の豊かさ、魅力、温かさ、すばらしさです。もう1年以上、合唱をしていない状態ですが、11月の合唱祭への思いが高まります。コロナ禍が落ち着き、自由に合唱ができることを願うばかりです。なお、合唱団の皆さんからも、「押原中の皆さんが真剣に聞いてくれたので、大変歌いやすかった。」という感想をいただきました。すてきな時間をありがとうございました。

### ☆進路希望調査を配布しました！☆

6月1日(火)に進路希望調査を配布しました。今の時点での希望をお聞かせください。今後、高校説明会などに参加し、志望校が定まってくると思います。あくまでも今の時点での希望で願います。進路通信や高校のパンフレットなど、進路関係のものは必ず保護者の皆様と一緒に確認するように伝えております。ご家庭でもお声がけをよろしくお願いいたします。